



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月28日

上場会社名 株式会社オービック 上場取引所 東
コード番号 4684 URL <https://www.obic.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）橋 昇一
問合せ先責任者 （役職名）執行役員経営企画室長 （氏名）三由 光 TEL 03-3245-6510
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年11月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	65,784	11.2	43,655	13.0	52,228	17.3	37,303	16.4
2025年3月期中間期	59,173	6.9	38,629	9.2	44,530	11.2	32,059	12.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 70,106百万円（143.7％） 2025年3月期中間期 28,768百万円（△44.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	84.80	—
2025年3月期中間期	72.88	—

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	568,363	487,360	85.7	1,107.85
2025年3月期	500,375	433,850	86.7	986.26

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 487,360百万円 2025年3月期 433,850百万円

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期 （分割後換算）	—	160.00 (32.00)	—	38.00 (38.00)	— (70.00)
2026年3月期	—	37.00			
2026年3月期（予想）			—	37.00	74.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の第2四半期の配当金については当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2025年3月期の1株当たりの年間配当金合計については、当該株式分割の影響を考慮して「—」と記載しております。2025年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定した場合、2025年3月期の1株当たりの第2四半期配当金は32円00銭、期末配当金は38円00銭、年間配当金は70円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 133,400	% 10.0	百万円 86,200	% 10.0	百万円 97,300	% 8.4	百万円 70,000	% 8.3	円 銭 159.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	498,000,000株	2025年3月期	498,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	58,084,410株	2025年3月期	58,106,110株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	439,901,953株	2025年3月期中間期	439,881,074株

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2025年4月22日発表の通期連結業績を修正しておりません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
受注及び売上の状況	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、一部に足踏みも見られるものの緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策による景気の下振れリスクや物価上昇の継続、金融資本市場の変動等の影響には引き続き注意が必要であり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革（DX）への取組などを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、更なる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販サービス一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強まりました。

システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズについても、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設等の設備増強やビジネスモデル特許の登録・出願、健康経営の取組の推進など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高は657億84百万円（前年同中間期比11.2%増）、営業利益は436億55百万円（同13.0%増）、経常利益は522億28百万円（同17.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は373億3百万円（同16.4%増）となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（A）システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業種・業界の企業に求められました。主な傾向として、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、付加価値の高い「OBIC7シリーズ」のシステム構築売上が堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は273億30百万円（前年同中間期比10.2%増）、営業利益は166億86百万円（同10.3%増）となりました。

（B）システムサポート事業

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は344億99百万円（前年同中間期比12.9%増）、営業利益は256億21百万円（同15.2%増）となりました。

（C）オフィスオートメーション事業

外部顧客に対する売上高は39億55百万円（前年同中間期比4.0%増）、営業利益は13億47百万円（同6.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計残高は、前連結会計年度末比で679億87百万円増加し5,683億63百万円となりました。これは主に、現金及び預金が185億82百万円増加したこと及び投資有価証券が483億61百万円増加したことによるものであります。

負債合計残高は、144億77百万円増加し810億2百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が147億27百万円増加したことによるものであります。

純資産合計残高は、535億9百万円増加し4,873億60百万円となりました。これは主に、利益剰余金が205億87百万円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が329億52百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は85.7%となりました。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は2,186億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ、185億82百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、332億71百万円（前年同中間期比16.5%増）であります。これは主に、税金等調整前中間純利益が522億7百万円計上された一方で、法人税等の支払が144億8百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、20億26百万円（前年同中間期は37億6百万円の減少）であります。これは主に、投資有価証券の売却による収入で34億56百万円増加した一方で、有形固定資産の取得による支出で12億98百万円減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、167億15百万円（前年同中間期は149億58百万円の減少）であります。これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当中間連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2025年4月22日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	200,065	218,647
受取手形、売掛金及び契約資産	17,863	19,404
商品及び製品	84	77
仕掛品	299	291
原材料及び貯蔵品	1	0
その他	1,280	1,462
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	219,589	239,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,175	22,674
土地	29,700	29,700
その他(純額)	3,241	2,841
有形固定資産合計	56,117	55,216
無形固定資産		
その他	85	81
無形固定資産合計	85	81
投資その他の資産		
投資有価証券	221,988	270,350
その他	2,596	2,836
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	224,583	273,184
固定資産合計	280,786	328,482
資産合計	500,375	568,363

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,246	5,484
未払法人税等	14,795	15,361
前受収益	1,357	2,074
賞与引当金	2,620	2,700
その他	6,775	4,744
流動負債合計	30,795	30,364
固定負債		
繰延税金負債	27,141	41,869
退職給付に係る負債	5,865	5,923
資産除去債務	675	676
その他	2,046	2,168
固定負債合計	35,729	50,638
負債合計	66,525	81,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,732	19,834
利益剰余金	365,137	385,724
自己株式	△43,295	△43,279
株主資本合計	360,752	381,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,276	106,228
土地再評価差額金	△474	△474
退職給付に係る調整累計額	297	148
その他の包括利益累計額合計	73,098	105,902
純資産合計	433,850	487,360
負債純資産合計	500,375	568,363

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	59,173	65,784
売上原価	12,668	13,885
売上総利益	46,504	51,898
販売費及び一般管理費	7,874	8,243
営業利益	38,629	43,655
営業外収益		
受取利息	3	169
受取配当金	1,821	2,520
持分法による投資利益	2,771	2,996
受取賃貸料	1,020	1,093
投資有価証券売却益	997	2,543
その他	51	26
営業外収益合計	6,665	9,350
営業外費用		
賃貸費用	764	776
その他	—	0
営業外費用合計	764	777
経常利益	44,530	52,228
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	321	—
特別利益合計	321	3
特別損失		
固定資産除却損	0	24
会員権評価損	—	0
特別損失合計	0	24
税金等調整前中間純利益	44,851	52,207
法人税、住民税及び事業税	12,531	14,894
法人税等調整額	261	9
法人税等合計	12,792	14,903
中間純利益	32,059	37,303
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	32,059	37,303

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	32,059	37,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,787	32,105
退職給付に係る調整額	△11	△103
持分法適用会社に対する持分相当額	509	801
その他の包括利益合計	△3,290	32,803
中間包括利益	28,768	70,106
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	28,768	70,106
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	44,851	52,207
減価償却費	1,198	1,226
持分法による投資損益 (△は益)	△2,771	△2,996
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,319	△2,543
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△216	△270
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	91	△91
受取利息及び受取配当金	△1,824	△2,689
固定資産売却益	—	△3
固定資産除却損	0	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,014	△1,541
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5	15
仕入債務の増減額 (△は減少)	16	238
その他	△979	58
小計	38,026	43,634
利息及び配当金の受取額	3,072	4,046
法人税等の支払額	△12,544	△14,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,555	33,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,914	△1,298
有形固定資産の売却による収入	—	5
無形固定資産の取得による支出	△13	△4
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	1,734	3,456
関係会社株式の取得による支出	△3,408	—
その他	△102	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,706	2,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2	—
配当金の支払額	△14,955	△16,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,958	△16,715
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,889	18,582
現金及び現金同等物の期首残高	170,244	200,065
現金及び現金同等物の中間期末残高	180,134	218,647

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムインテ グレーション	システム サポート	オフィスオート メーション	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	24,807	30,560	3,804	59,173	—	59,173
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	—	43	44	△44	—
計	24,809	30,560	3,847	59,217	△44	59,173
セグメント利益	15,121	22,237	1,271	38,629	—	38,629

(注) 1. 「調整額」の△44百万円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムインテ グレーション	システム サポート	オフィスオート メーション	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	27,330	34,499	3,955	65,784	—	65,784
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	—	143	144	△144	—
計	27,331	34,499	4,098	65,929	△144	65,784
セグメント利益	16,686	25,621	1,347	43,655	—	43,655

(注) 1. 「調整額」の△144百万円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年 同中間期比
システムインテグレーション事業	25,101	39.5	27,450	38.8	2,349	109.4%
システムサポート事業	34,413	54.2	39,098	55.3	4,685	113.6%
オフィスオートメーション事業	3,983	6.3	4,156	5.9	173	104.4%
合 計	63,498	100.0	70,706	100.0	7,207	111.4%

②売上実績

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年 同中間期比
システムインテグレーション事業	24,807	41.9	27,330	41.6	2,522	110.2%
システムサポート事業	30,560	51.7	34,499	52.4	3,938	112.9%
オフィスオートメーション事業	3,804	6.4	3,955	6.0	151	104.0%
合 計	59,173	100.0	65,784	100.0	6,611	111.2%

以上